

第1回 米沢養護学校就労コース設置準備委員会【記録要旨】

- 1 日時 令和2年8月26日（水）10:00～11:00
- 2 場所 県立米沢養護学校会議室
- 3 協議

（1）就労コースの基本構想（案）について

- ◇ 校内外における実習をより重視した職業教育
 - ・就労を目指す教育課程を編成し、働く力を育成する。
- ◇ 置賜地区ならではの取組み
 - ・置賜地区の産業や企業のニーズを踏まえ、独自の取組みを工夫する。
- ◇ 地元での就労を支援する
 - ・生徒の居住地を中心に、地元の企業等と連携し、就労につなげる。

<主な意見>

- ・就労コースができれば、中学校の進路指導の幅が広がり、より良い進路指導が実現できる。
 - ・置賜地区ならではの取り組みとして、地区産業を活かしたり、企業のニーズに合わせてすることで就労先の拡大につながると思う。
 - ・置賜地区に特化した就労コースには期待がもてる。地元での就労を実現できるように、今後も学校と連携して、就職へのつながりを進めていきたい。
 - ・米沢養護学校と工業団地との距離が離れていることは課題である。校内外の実習を組み合わせれば、充実することが考えられる。
 - ・地元のニーズを掘り起こし、それに迫る教育課程の検討が必要になる。
 - ・南陽市等、上山高等養護学校の方が通学しやすい生徒もいる。生徒の事情に合わせ、進路先を決められるとよい。
- パブリックコメントでも寄せられた課題であり、今後検討していく。
- ・小国町や飯豊町等、遠方からの生徒の受け入れについて検討が必要である。
- 個別に相談することになる。通学保障として、寄宿舎の1棟は残す。

（2）就労コース設置準備スケジュール（案）について

<主な意見>

- ・就労コースの存在を知っていることで進路選択が広がる。生徒や保護者等に理解していただくために説明会を設けていただきたい。
- 令和3年度に説明会を予定している。今年度から情報提供しながら進める。
- ・新庄養護学校のようなデュアルを前提にするのではなく、関係機関の皆様から力をお借りし、地元ならではの就労コースを設置していく。
 - ・全国的に既存の校舎や建物を使用しての校舎等の再編整備が行われている。目的に合致し生徒の力が発揮できる就労コースを整備したい。